

学校校庭にある仮設住宅への対応の事例

七ヶ浜町の例

住宅再建による仮設入居者の移転の見込みを分析し、住宅再建に関するアンケートや説明会により入居者の理解促進を図る取り組みを行っている。【入居者の理解促進・住宅再建の支援】

その上で、仮設住宅の集約化の計画を作成。学校グラウンドを第1優先とする方針を明確にして進めている。【明確な方針】

また、校庭仮設からの移転について町が一括して業者へ委託するなどの入居者の負担軽減のための支援を行っている。【支援策の実施】

気仙沼市の例

災害公営住宅や防災集団移転などの住宅再建による仮設入居者の移転の見込みを分析し、方針やスケジュールなど総合的な計画を作成している。その中で、学校施設等の早期解消を第1の優先事項とする方針を明確にして進めている。【明確な方針とスケジュール】

方針やスケジュールとともに、住民説明会の開催、コミュニティ、防犯や利便性などの配慮事項を示し、関係部署、関係機関・団体等と連携を図りながら、関係者の理解を十分に得ることを前提に取り組むとしている。【入居者への配慮、理解促進】

また、校庭仮設からの移転について、入居者の精神的・経済的負担（転居に係る費用負担支援）に配慮するとしている。【負担の軽減】

大船渡市の例

防災集団移転や災害公営住宅などの住宅再建による仮設入居者の移転の見込みを分析し、四半期ごとの具体的な計画を作成している。小中学校の敷地を優先的かつ重点的に取り組むとする方針を明確にして進めている。【明確な方針とスケジュール】

議会への説明や広報誌の掲載など計画を公表した後、自治会長や転居対象世帯への訪問を行うなど、移転対象となる入居者の意向を十分尊重しながら取り組むとしている。【対象世帯の意向確認】

また、校庭仮設からの移転について、移転先や複数戸数の希望を聞いたり、転居費用について負担を求めないとしている。【移転者の希望の反映】